



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL <https://www.fixstars.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	1,716	22.5	484	66.7	484	67.2	326	92.0
2022年9月期第1四半期	1,401	13.2	290	88.0	289	89.6	170	108.4

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 269百万円 (40.9%) 2022年9月期第1四半期 191百万円 (171.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	10.16	—
2022年9月期第1四半期	5.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第1四半期	7,318	4,525	59.5	135.55
2022年9月期	8,161	4,584	54.1	137.34

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 4,356百万円 2022年9月期 4,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期 (予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,500	16.1	850	△2.1	850	△2.1	550	2.7	17.11
通期	7,300	15.7	2,000	23.1	2,000	18.3	1,300	20.1	40.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	33,635,000株	2022年9月期	33,635,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	1,491,980株	2022年9月期	1,491,980株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	32,143,020株	2022年9月期1Q	32,514,541株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の引き続きの感染拡大の懸念、物価高の進行により、企業活動や個人消費等への影響が懸念される状況であります。世界経済においても新型コロナウイルス感染症の影響、不安定な世界情勢による資源価格高騰、急激な為替変動など依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現するソフトウェア及びハードウェア等を提供するとともに、これらの知見がより広く社会に活用されることを目指し、新規SaaS事業の展開を行っております。

主力のSolution事業では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。その他においても、高速化サービスに対する旺盛な需要を背景に、日本国内の製造業向け案件を中心として安定的な収益を獲得しております。

SaaS事業においては、量子コンピュータ向けプログラムの開発・実行プラットフォーム「Fixstars Amplify」、AIコードレビュー「Sider」、乳がんAI画像診断支援事業等の開発を進めております。

また、海外においては米国子会社のFixstars Solutions, Inc. が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,716,099千円（前年同期比22.5%増）、営業利益484,950千円（前年同期比66.7%増）、経常利益484,628千円（前年同期比67.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益326,615千円（前年同期比92.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

①Solution事業

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。Life Scienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援、Industrialの分野では産業機器等におけるマシンビジョンシステムの高速化支援等を提供しております。

この結果、売上高は1,663,677千円（前年同期比20.5%増）、セグメント利益（営業利益）は565,408千円（前年同期比39.4%増）となりました。

②SaaS事業

各SaaS事業において、将来の収益獲得に向けて積極的な投資・開発を行っております。

この結果、売上高は52,421千円（前年同期比159.4%増）、セグメント損失（営業損失）は80,457千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）114,633千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて843,291千円減少し、7,318,685千円となりました。これは、現金及び預金が712,530千円減少したことが主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて784,552千円減少し、2,793,323千円となりました。これは、未払法人税等が401,592千円、長期借入金が190,666千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて58,738千円減少し、4,525,362千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を326,615千円計上した一方で、配当金の支払いが321,430千円あったことにより利益剰余金が5,185千円増加したこと、為替換算調整勘定が62,893千円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、2022年11月11日付の「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,056,616	4,344,086
電子記録債権	4,125	4,125
売掛金	2,012,106	1,832,927
契約資産	71,965	183,176
棚卸資産	7,728	49,659
その他	52,882	61,764
流動資産合計	7,205,424	6,475,737
固定資産		
有形固定資産	351,967	327,641
無形固定資産		
その他	2,735	2,357
無形固定資産合計	2,735	2,357
投資その他の資産		
投資有価証券	69,210	68,511
繰延税金資産	189,767	105,226
敷金及び保証金	342,870	339,210
投資その他の資産合計	601,848	512,948
固定資産合計	956,552	842,948
資産合計	8,161,977	7,318,685
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,773	148,109
1年内返済予定の長期借入金	795,996	795,996
契約負債	31,308	20,748
未払法人税等	499,986	98,394
賞与引当金	251,471	36,555
その他	527,848	595,171
流動負債合計	2,282,383	1,694,975
固定負債		
長期借入金	1,289,014	1,098,348
その他	6,478	—
固定負債合計	1,295,492	1,098,348
負債合計	3,577,876	2,793,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,468	554,468
資本剰余金	543,917	543,917
利益剰余金	4,536,767	4,541,953
自己株式	△1,364,035	△1,364,035
株主資本合計	4,271,117	4,276,303
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	143,501	80,607
その他の包括利益累計額合計	143,501	80,607
非支配株主持分	169,481	168,451
純資産合計	4,584,101	4,525,362
負債純資産合計	8,161,977	7,318,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,401,295	1,716,099
売上原価	727,824	825,271
売上総利益	673,470	890,828
販売費及び一般管理費	382,472	405,877
営業利益	290,997	484,950
営業外収益		
受取利息	1	183
未払配当金除斥益	750	672
助成金収入	570	—
為替差益	—	22
その他	214	0
営業外収益合計	1,535	878
営業外費用		
支払利息	1,730	1,165
為替差損	1,029	—
その他	0	35
営業外費用合計	2,759	1,201
経常利益	289,774	484,628
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,550
特別利益合計	—	19,550
税金等調整前四半期純利益	289,774	504,179
法人税、住民税及び事業税	98,812	88,004
法人税等調整額	14,459	84,043
法人税等合計	113,272	172,047
四半期純利益	176,501	332,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,420	5,515
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,081	326,615

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	176,501	332,131
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14,626	△62,893
その他の包括利益合計	14,626	△62,893
四半期包括利益	191,128	269,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,707	263,721
非支配株主に係る四半期包括利益	6,420	5,515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	Solution事業	SaaS事業	
売上高			
一時点で移転される財	1,294,960	11,461	1,306,421
一定の期間にわたり移転される財	86,127	8,746	94,873
顧客との契約から生じる収益	1,381,087	20,207	1,401,295
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,381,087	20,207	1,401,295
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,381,087	20,207	1,401,295
セグメント利益又は損失(△)	405,631	△114,633	290,997

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	Solution事業	SaaS事業	
売上高			
一時点で移転される財	1,476,480	38,711	1,515,192
一定の期間にわたり移転される財	187,197	13,710	200,907
顧客との契約から生じる収益	1,663,677	52,421	1,716,099
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,663,677	52,421	1,716,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,663,677	52,421	1,716,099
セグメント利益又は損失（△）	565,408	△80,457	484,950

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会社組織の変更に伴い、2022年7月1日よりGENESIS事業の報告セグメントを「SaaS事業」から「Solution事業」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報及び顧客との契約から生じる収益を分解した情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載していません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。